

第4章 城里町の教育における課題と  
今後の取組方向

## ■ 第4章 城里町の教育における課題と今後の取組方向

### (1) 学校教育に関する課題と今後の取組方向

#### ■ 長期的な目標に基づく教育の成果の実現

---

- ・長期的な視点に立った、着実な学力向上策の推進
- ・誇れる教育環境・教育資源の醸成
- ・家庭の環境にかかわらず子どもたちが十分な学習機会が得られるしくみづくり

#### ■ 個性を引き出す多様な教育の機会の提供

---

- ・一人一人の子どもの個性・特性を最大限に生かすための多様かつ高水準な教育機会の提供
- ・国際理解教育、国際化に対応した教育、英語教育の強化
- ・ICT化に対応した教育の充実や情報リテラシーの醸成
- ・これまで取り組んできた「ふれあいの船」や「城里町音楽のつどい」など独自の教育プログラムの継承
- ・子どもたちの個性を引き出す教育機会(選択肢)の拡大

#### ■ 子どもたちが心身ともに健やかに成長するための取組

---

- ・自己肯定感の醸成により、自分自身に誇りをもてる子どもたちの育成
- ・不足しがちな交流機会の解消による未来を生き抜くためのコミュニケーション能力の育成
- ・特別支援教育の充実
- ・スクールカウンセラーの充実、心の相談の充実
- ・社会性や自己肯定感を育む読書活動の推進

#### ■ 児童生徒数の減少への対応

---

- ・小中学校の再編に伴う教育環境の維持・向上
- ・通学困難地域の多様な解消策の検討・スクールバスの再検討など
- ・児童生徒の通学路の利便性の確保、交通安全対策、防犯対策の促進
- ・子どもたちが、健やかに成長するための放課後の過ごし方の検討

#### ■ 将来にわたって地域を支える人材の育成

---

- ・本町に生まれ育ち、将来にわたって地域を支えていく貴重な人材の育成。
- ・質の高い教育の提供による、より生産性の高い人材の育成

#### ■ 地域全体で支える豊かな教育環境

---

- ・教育に係る厳しい財源の状況を踏まえた、地域全体で教育環境を支える取組
- ・学校・地域・家庭の連携の強化
- ・城里町の地域資源である豊かな自然環境(フィールド)を最大限に活用した教育の推進

## (2) 生涯学習に関する課題と今後の取組方向

### ■いつでも、どこでも、だれでも参加できる生涯学習体制の整備

---

- ・生涯学習事業・公民館講座などの情報提供の強化と町民の参加促進のための積極的な取組
- ・町民のニーズや町民の役に立つ質の高い講座・教室の提供
- ・健康寿命の伸長を目指した町民スポーツの振興
- ・施設・設備の適切な維持管理

### ■少子化・高齢化に対応した利用しやすく持続可能な生涯学習システムの検討

---

- ・対象のニーズと必要性を的確に捉え、少子化や高齢化に対応した生涯学習の在り方の検討
- ・施設の予約システムの効率化・簡素化・利便性の向上、予約システムの電子化等による利便性の向上
- ・人口が少なくても町民がスポーツを楽しめるような多様な取組
- ・高齢化に伴い縮小しがちなサークル活動、文化活動を継続していくための仕組の検討
- ・若い世代が利用しやすくなる生涯学習の仕組づくり

### ■より質の高い教育内容・役に立つ生涯学習の展開

---

- ・より深く学びたい人のための段階的な講座や学習システムの充実
- ・学んだ内容、生涯学習の成果を生かす機会の提供
- ・地域に多く存在する各分野の専門家(芸術分野での優れた人材が豊富)、人材の発掘・把握

### ■地域文化の伝承・文化活動の在り方の検討

---

- ・城里町や住んでいる地域に根差した伝統や伝承などを語り継ぐための取組
- ・新たな町民文化を醸成するための町民一体となった文化活動の推進
- ・無形・有形文化財の積極的な保全と町民への周知

### ■地域コミュニティの課題解決を担う人材・組織の育成

---

- ・地域の課題を解決するための一方策としての生涯学習活動
- ・地域の活性化のための生涯学習活動
- ・生涯学習活動を通して、地域コミュニティ活動への参画のきっかけとなるような取組の検討

